

2017年（平成29年）6月26日

6月27日（火）から相鉄線全25駅で リアルタイム多言語通訳サービスを導入 英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語の5カ国語に対応

相模鉄道株式会社

相鉄グループの相模鉄道株（本社・横浜市西区、社長・滝澤秀之）では、2017年（平成29年）6月27日（火）からタブレット型端末のテレビ電話機能を活用したリアルタイム多言語通訳サービス「SMILE CALL（スマイルコール）」（以下、本サービス）を導入します。

これは、駅係員がテレビ電話機能で通訳を介することで、外国人のお客さまとリアルタイムで応対できるものです。相鉄線沿線では、訪日外国人（インバウンド）対応はもとより米軍施設や工業団地が多く点在し、沿線にお住まいの外国人のお客さまの利用が多いことから、かねてより駅での応対が課題となっていました。本サービスの導入で、英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語の5カ国語に対応し、行先案内や乗換案内の他、複雑な説明を必要とするお忘れ物の対応やIC乗車券の払い戻しにも正確、迅速に対応することが可能になります。

本サービス開始に伴い導入するタブレット型端末は、相鉄線の全25駅（31台）に設置します。本サービスの他、筆談器の機能や駅周辺のご案内等、お客さまのご要望に応じた様々なサービスを提供します。

概要は、別紙の通りです。



駅での使用イメージ

リアルタイム多言語通訳サービス「SMILE CALL (スマイルコール)」の概要

1. 名称

「SMILE CALL (スマイルコール)」

2. 開始時期

2017年(平成29年)6月27日(火)

3. 提供場所

相鉄線全駅(25駅)

4. 利用可能時間

始発から終電まで

5. 内容

タブレット型端末のテレビ電話機能を利用して駅係員が通訳を介してお客さまとリアルタイムに対応するものです。対応言語は、英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語の5カ国語で、始発から終電まで利用できます。

6. サービス提供会社

会社名 (株)インデンコンサルティング(インデングループ)

所在地 京都府京都市中京区烏帽子屋町502

資本金 3,000万円(グループ連結で7,900万円)

代表者 代表取締役社長 黒松高弘

事業内容 インバウンド総合支援、システム開発販売、広告代理店

7. サービスのイメージ



タブレット型端末の概要

1. 導入日

2017年(平成29年)6月27日(火)

2. 導入機種

iPad pro*

3. 導入駅・台数

相鉄線全25駅・31台

4. 主な導入目的

- ・訪日外国人(インバウンド)や相鉄線をご利用の外国人のお客さまへのサービス向上。
- ・インターネットやスマートフォン用アプリケーション等の活用によるお客さまへのサービス向上。

* iPadは、Apple社の登録商標です。